

占

●社長の顔●

占いの玉手箱

竹村 亜希子

社長の顔には、概して同じような特徴が見られる。

額と鼻と耳。

この三つを観察して見れば、なるほどと納得してもらえないはずである。鼻、額をチェックし、耳を見比べてみれば「この人は社長になれる」と判断できるというものだ。

まずは、鼻からみてみよう。

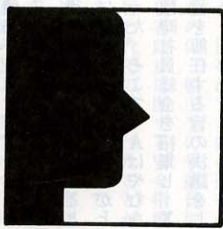
人相学では「顔全体」がその人の属する社会を表し、鼻はその人自身を表すとされている。つまり鼻は、その人物がどれだけ縄張りを張ることが出来るか、社会的な地位を得ることが出来るかのバロメーターなのである。だから経営者といわれる人は皆立派な鼻をお持ちである。

たとえば三菱化学相談役の鈴木精二さんの鼻。これは典型的な立派な鼻といえる。高く、大きくて、小鼻がしっかりと張っている。

人を比較してみると大きな違いがある。東芝相談役の青井裕

一さんは鼻筋の太い直感派であり、いわゆる実践派なのである。一方の鈴木さんは理論家タイプといえるだろう。

日本生命保険の伊藤助成社長の鼻もまた実に立派である。しかも鼻の先が少し下を向いている点に注目してほしい。鼻の先が下を向くとはどういうこと



か。「伝統を守る」という意味がある。さらにいうならば、冒險を好まないで、保守的ということでもある。この性格は、保険業界にピッタリといえるだろう。

ソニーの大賀典雄会長の鼻は、これはもう絶賛ものである。その大きさといい、肉付きといい、並じゃない。顔の真ん

中に悠々と座っており、どつしりと胡座をかいているさまは、まさに世界を股にかける鼻とも表すべきかもしれないほどだ。

次に額について触れてみよう。額とはつまり額にある三本の皺の形状を言う。

前にも登場いただいた東芝の青井相談役は、三本の皺がとてもしきれいでている。ただ、専門的な指摘をさせてもらうならば、一番下の線がやや弱い点に気になる。

三本の線の意味するところは、簡単に説明すると、上の線が「目上からの引き立て」であり、真ん中の線は「自分の持つ運氣と実力」、下の線は「部下の能力で伸びる」。

だから青井相談役の場合は、上と真ん中が良くて、下がやや弱いということだ。これを解釈するならば、ご本人に実力があって、目上の引きも凄いいし、信用も圧倒的。自分で何でも出来るからついついやりすぎてしま